

第19回 全国大会

1999

11月11日

木

12日

金

13日

土

新潟大会開催

される

商工会議所青年部全国大会

万感の思いを込めて、いま純白の里から





全国大会御礼

大会会長 古泉 幸一

第19回商工会議所青年部全国大会を「アントレプレナーズスピリッツ 今起こそう経済維新の風」のスローガンのもと、私たち、新潟県商工会議所青年部連合会主管により、新潟で開催させていただき、全国各地より多くのYEGメンバーをお迎えすることができ、大きな喜びを感じています。新潟県連と同感謝するともに心よりご歓迎申し上げます。

新潟は古くより「水の都柳都」と称され、独自の文化的発展・経済的發展を遂げてまいりました。河川を利用しての交通網を作り上げ、隣県との交易を盛んに行なってきました。また、湿地帯の乾田化や土地改良の技術は進歩を重ね、いまや中国をはじめとするアジア各国への支援事業となっています。今、時代は多少の明るいまし

見えたとはいえ、まだまだ厳しい大変な時代を迎えております。消費の低迷が続くなかで、やがて訪れる人口減少の問題は商工業界に身を置くものにとつて大変深刻な問題としてかわつてまいります。そんななか、地域における自企業の充実にともな、地域を越えた交流を進めなければならぬと考えています。

この全国大会がYEGメンバーの交流の発展の場として活用して頂きたいと考え願っております。最後になりましたが、本大会の開催に際しましてご参加いただきました全国のYEGメンバーの皆様はもとよりご協力ご支援を賜りました諸団体、関係各位の皆様方に心より感謝申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

第19回全国大会新潟大会

実行委員長 伴田 宏

第19回商工会議所青年部全国大会「新潟大会」は、全国各地から三、二六五名という大勢のYEGメンバーのご参加を頂き、無事終了することができました。これも偏に全国YEGの仲間間の温かい友情ご支援、ご協力の賜と感謝申し上げます。また北潟重利会長をはじめ、商連役員の方々は深いご理解と絶大なご支援を頂きましたこと、厚く感謝申し上げます。

最後になりましたが、今後の全国大会の更なる発展を鹿児島、そして小田原の皆様へお願いし、御礼のご挨拶させていただきます。本当にありがとうございました。

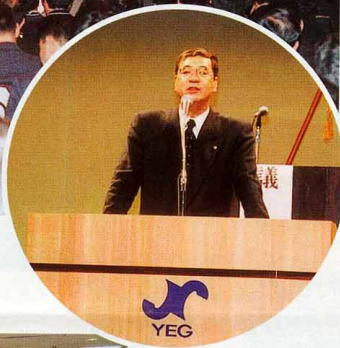
最後に、新潟県連8単会の連携による主管、しかも青年部未設置都市での開催ということ、環境は予想以上に厳しいものがあ

第17回会長研修会

花巻での研修会を
報告いたします！



会長研修会花巻



2日間に全国の皆様と夢を語り、おおいに盛り上がり、来るべき21世紀での方向・指針が見えたかと確信しています。

全国会長研修会御礼

大会会長 高橋 弘司

第17回全国会長研修会いわて花巻大会は全国より256単会・950名の各会議所青年部様・YEGメンバーの御登録を頂き大変感謝申し上げます。

本研修会は、「アントレプレナーズスピリッツ、今起こそう経済維新の風」のスローガンと、「役に立つ商青連」と話す北島重利商青連会長の思いのもと、主催全国商工会議所青年部連合会役員・主管 花巻商工会議所青年部一同大きな喜びを感じ感謝するとともに心よりご歓迎申し上げます。

いわて花巻は東北地方のへの部分に位置し、北東北の玄関であり、交通の三種の神器を擁し、大自然を頂き豊富な温泉に恵まれ、「世界全体が幸福になれば個人の幸福はありえない」と詠い天文・地質学者、詩、童謡を作った宮沢賢治の生まれ故郷。「われ、世界の架け橋とならん」と称えた新渡戸稲造(にとべいなどう)の父の生誕地(青森県十和田市の開拓を手懸けた)、また、疎開先に花巻太田山に住んだ詩人・芸術家高村光太郎等、多くの偉人の住いた当地で2000年2月8・9日の2日間に全国の皆様と夢を語り、おおいに盛り上がり、来るべき21世紀での方向・指針が見えたかと確信しています。

今、時代は多少明るい兆しが見えたとはいえ、まだまだ不透明な時代を迎えており、今後も商工業界を取巻く環境は厳しいものと思われ

ます。

この機に知合ったメンバーとの情報交換をし連携を深めて頂ければ幸いです。

最後になりましたが、本研修会の開催に際しまして、ご参集頂きました全国YEGメンバーの皆様はもとよりご協力、ご支援を賜りました諸団体、関係各位皆様方に感謝申し上げますとともにオール岩手の会議所青年部の皆様方を代表しまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

繁盛までの秘話を大公開。これであなとも商売繁盛。

YEGでビジネス繁盛記



YEGこそ

ビジネスチャンスあり

水戸YEG 有限会社サンドクリンサービス 代表取締役 菊池 勝美氏

私が、商青連アントレプレナーズ委員会に出向希望した理由は、水戸YEGより東地区担当副会長として永井氏が出向し、本人からも商青連活動・連携事業・仲間作りなど多くの話を聞き「これなら自分の商売につながる」と思いう出向希望致しました。アントレプレナーズ委員会のニュービジネス小委員会に所属し「スバラシイ」方にお会い出来ました。その方は茅ヶ崎YEGのマドンナ山本さんでした。

新潟ではお会いしてから数日後、山本さんから連絡が有り、茅ヶ崎YEGのメンバーに紹介したいのですが、是非お越しくださいとの事。喜んで承諾致しました。メンバーの前で我社の成立を話し、いろいろと話し合いました。

数ヶ月後今度は、婦人部会と合同例会を開催致しますので講師として是非お願い致しますとの依頼があり、お引受け致しました。

ビジネス面では、静岡県藤枝YEG山本氏との出会い、我社のビジネスに共感していただき、又、静岡県の代理店も受けて頂く事になり、新潟全国大会に於いてはニュービジネスとしてブリスを頂き、我社の梭フロア床材(特許はれるんです45)の展示を

させて頂いた事により、全国YEGのメンバーより問い合わせが殺到し、岩手県花巻YEG高橋氏より梭フロア代理店依頼が有りました。

※この「はれるんです45」は、今回が世に初めて出る為全国YEGメンバーのみ販売・代理店・各県1代理店のみとする。

この様に、短期間の内に営業拡大、経費をかけずに利益が上がる...YEGメンバーは、我社の営業マンといえるでしょう。

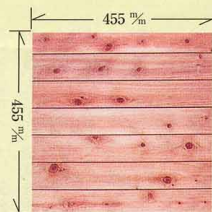
遅れましたが我社は、私立保育園・幼稚園を対象に「犬猫侵入防止砂場」の販売・設計・衛生管理・細菌検査を行なう会社で、専門業なのです。現在、茨城・埼玉・神奈川県・静岡で営業展開致しております。只今代理店も募集しております。

e-mail ykases@nvg.biglobe.ne.jp
URL http://www.fabighobench.jp/~ses
是非アクセスを!!

21世紀をにやう子供たちへの良い環境作り
有限会社 サンドクリンサービス
代表取締役 菊池 勝美

出向して本当に良かったと思います。

天然ヒノキ床材「はれるんです45」



●貼り合せ基本パターン(市松貼)



施工例

YEGは自己研鑽の場

知識とアイデアの宝庫

滑川YEG アントレプレナーズ地域連携小委 橋本新聞販売店 橋本 光司氏

私は平成九年度滑川YEGの第十九代會長を、そして平成十年度富山県YEGの第二十二代県連會長を拝命し、今年一年度は商青連出向理事をしております。富山県では県連會長をした後、商青連に出向することになっております。当初は県外出張の回数が多いので少し驚きましたが、それでも何とか日程の都合をつけてできる限り出席する様にしています。

私の事業は、富山県の地方紙「北日本新聞」の小さな販売店ですが、創業七十三年私で三代目になります。商青連でのビジネス機会は少ないのかも知れませんが、東京或は大坂地区及び全国各地から、第一線の生の情報がいち早く得られること、いろいろな県に行くことができ、その地域の考え方や産業の特性がつかめること、そして未知の人との交流ができたのは自分自身の見聞を深める意味で大変有難いことだと思っています。

さて、富山県滑川市という知らない人が多いのではないかと思います。滑川の特産物は「ホテルイカ」という小さな光るイカです。以前から、ほたるいかに観光、というのを季節限定でやっていましたが、それを全国に情報発信しようとして、五年前からその一環として「龍宮まつり」というのを始めました。五月末の土、日に行われ、総額二千万円、親会議所が主催しYEGが主管する、集客延数五万人という、人口三万四千人の市としてはかなり大がかりなもので、初回は市から七百万円、二回目、三回目は県から、生き生き富山キャンペーンにも指定され、二年間で一千万円の補助も頂戴しました。年々YEGの役割が高まりつつあり、最終的には内容を総括すると思

われます。これまでミニ四駆大会、ストリートダンスと色々やってきましたが、昨年は従来のミス乙姫コンテストに加えて、「ミスター浦島コンテスト」と「ミセス・ラソピアコンテスト」を追加しました。タラソピアというのは、会場のほたるいかにユージアムの隣りにできた「深層水体験施設」の愛称です。とても楽しいお祭りですので、全国のYEGの皆さんも機会があったら一度見に来て下さい。(富山市と魚津市の間の市街滑川市、北陸線JR滑川駅から徒歩五分、自動車の方は駐車場とシャトルバスを用意しています。)

商青連での活動の場では、全国のお祭りを見たり、知ることができて大変参考になりましたし、感謝しています。これからもYEGの一員として情報の交流、交換をして、いろんなことに役立たいと考えています。



この原稿を寄稿されました富山県滑川YEGより出向の橋本光司君が2月12日朝、急逝されました。心より御冥福をお祈り致します。

オレのビジネス

名言集



初心忘れるべからず

(東海ブロック代表理事)
前田特許事務所
弁理士 前田 勘次

今や、日本国内においては、新規事業の創業よりも事業の廃業の方が多。このため、何とか少しでも開業率を高めようとして各種の起業家セミナー等が盛んに開催されている。そんな中で、私は最近、創業者支援セミナーや、起業家育成講座等の創業者や起業家を対象とするセミナーによく出掛ける。これには、理由がある。開業当初は、誰でも人生を賭けて勝負をするのだという燃えるような意気込みがあるとともに、事業がうまくいかずかどか心配で夜も寝れないような不安感がある。しかしながら、開業から月日が経つと、ややもすると開業当初の熱いおもいが次第に薄れてくる。私も、特許事務所を平成5年に開設したのであるが、今では日々の忙しさにかまけて、開業当初の初心をついつい忘れがちになる。

そこで、いつまでも開業当初の真剣な気持ちを忘れないように、私はそういういったセミナーへ積極的に出掛けることにしている。常に、開業した当時の新鮮な気持ちで、元気に仕事を続けたいものである。

人は自分が思い描いた人生を歩む

(九州ブロック代表理事)
有限会社吉富財経センター
代表取締役 吉富 健一

独立開業して、もう20年にもなりました。私がまだサラリーマンだったころに、この言葉をおぼえて見つけた時、ものすごく身震いしたことを思い出します。オイルショックの時、就職難の中でやっと見つけた仕事で壁にぶつかっていたころ、この言葉が私に大きな勇気を与えてくれました。何事にも受け身とか被害者意識とかではだめだ、私は今まさに運命から試されている！このような前向きに主体的に生きる気概をもらえたことが、その後の私の人生を大きく変えてくれました。

あれも人生。これも人生。

(関東ブロック代表理事)
株式会社東関開発
代表取締役 宇井 成一

学説によると人間は、少なからず自殺願望を持っているといわれています。斯く云う私も一〇代か二〇代か三〇代かになったら自殺してしまおうかと思っておりました。それは、当時「おとな」といわれる人が、うそつきで考えが汚いと思えたからでした。自分も世間のしがらみなどで将来あんな風になるんだらいいってそのころで考えました。私は四〇歳になるわけですが…

「思ひや、願ひ、そして、目標なるほどと論得させぬら、ひまらざるなほを名を記せぬら、腐ひかなんぞ我れぞれたか、そのことばは、よめて、人まを愛してしまつたり、愛えりのまらだ、名を記せぬら、それによつて与えられたものや、由來を語つてもあらざる。

■全国大会新潟大会で会いましょう。
全国大会の登録数が300名を超えました。数だけの問題ではありませんが、こんな景気だからこそ、商青連に対する期待が高まっているような気がします。新潟の全国大会で、一人でも多くの友と語り、自分たちの地域、自分の商売につながる何かを持って帰っていただければ幸いです。

■ミレニアムキャンペーンのご案内
各地商工会議所青年部の皆さまへ
西条 YEG では現在ホームページにてメンバー企業の紹介及び2000年1月15日より3月10日まで旅行券(10万円相当)及び企業賞(総額20万円)が当たるミレニアムキャンペーンを実施しております。皆さまのアクセスをお待ちしております。

野村@専務理事

■ミレニアムカウントダウン開催！
山口 YEG が「日本のクリスマス発祥地」の象徴として植樹した「ハートツリー MOMI」の前で、市民有志の皆様が「カウントダウン」イベントを開催されました。カウントダウンで2000年1月1日を迎えると同時に「MOMI」の発声で乾杯しました。

山口 YEG の提唱してきた「日本のクリスマスは山口から」運動が市民の皆様にも広がったことはとてもうれしいことです。

Mail: ichiro@joho-yanaquichor.jp
URL: http://www.joho-yanaquichor.jp/em/

竹中 一郎 (山口 YEG 会長)

●商青連ホームページ●
<http://www.yeg.tozenkoku/>

「商青連 台湾大地震義援金」まとまる

77単会、5連合会から 総額210万円

商青連では、台湾大地震に対する義援金を各青年部にお願ひしておりますが、77単会・5連合会のご賛同をいただき、総額210万円をとりまとめました。ご協力ありがとうございました。

これを受けて、去る12月22日、北島重利会長より、来日中の助中日経済貿易発展基金会・李上甲秘書長に「商青連台湾義援金」を手渡しました。(写真)

商青連では、昨年6月に日本商工会議所で実施した「訪台湾経済視察団」に10名が参加し交流を深め、昨年10月には台湾より訪日団を迎えることになっておりましたが、地震により急遽訪日は延期となりました。今年こそ台湾からの訪日団を迎え、青年経済人との交流も実現できるよう検討中であります。

年間活動報告

□アントレプレナーズ □総務委員会 □研修委員会 □広報委員会 □企画委員会

年間を通してどのように活動してきたか、各委員長に報告していただきます。



アントレプレナーズ 1年間活動報告

アントレプレナーズ委員長 角南 平治(児島 YEG)

何も分らないまま、アントレプレナーズ委員長を拝命し、キャリアックに参加。北島会長から全て任せとの事だったので準備。丁度、町作り(ファッショントウン構想)・環境問題(エコタウンビジョン・ISO14001)・中心市街地活性化・新規事業(新商品・新分野)・もの作り母機能(地場産業)等を考えていたところだったので、これらを中心に委員会メンバー(出向理事)と深夜まで討議し、5つの小委員会と、リーダー・サプリーター、そしてフレームを作る。

翌日事業計画(ナント5番目が商青連のあり方についての検討)を発表。即、公募!オリジナルの公募要項を作成。しかし、永井担当副会長、北島会長、野村専務理事より公募の苦勞も聞かされ、対策の指示を頂くが、公募はあくまで本人の意志であり、目的を持って参加するのだからと、真板の鯉と決めこむ。3月末になり、応募が続き。最終的に公募69名、総勢80人のアントレプレナーズ

委員会が出航。

【反省】

- 準備にもう少し時間と場が欲しかった。(マニュアルはないので手探りでするしかない。)
- 商青連から各県連、単会への情報が、会員まで流れにくく。(商青連の認知、活動の評価)
- 4月よりスタートダッシュ!商青連役員会と同時開催。各地での合同単独での研修・会議。そのうち動きの良い小委員会、参加する人、そうでないと分れてくる。私もできるだけ全てに参加の努力はしたが、全てには参加できなかった。申し訳ない、残念。
- 参加するには意志・意識・意欲が必要であり、参加した人のみ成果を得る。これがアントレプレナーズ委員会なのである。その場を提供できなければ、いかに参加者本人の問題とはいえず、商青連のスタッフ、委員長の責任である。そのため我々は商青連のあり方をも議論してきた。

【反省】

- 委員会の目的・事業内容、スタッフの意識・意欲・責任を明確にし、公募すべきであった。
- 対外的に我々の活動内容、成果の発表の場は、全国大会での「ビジネス交流プラザ」、会長研修会での「分科会」、「報告書」のみであるが、真の成果は参加者のみにある。大小、多少は別にして成果は上っているし、これからが楽しみである。明るく、楽しく、元氣よく成果を探索しよう!
- 最後に児島 YEG のメンバーと、公募から最後まで全ての事務局の仕事を手を遂行してくれた片山君に感謝する。1年間で協力ありがとうございました。



総務委員会 1年間活動報告

総務委員長 高橋 弘司(花巻 YEG)

○会員総会役員会の開催

商青連役員会を7回開催、新潟での全国大会期間に会員総会を開催、花巻の全国会長研修会で平成11年度総会を開催しました

○規約、組織などの検討

商青連各委員会の委員長は、次年度より商青連出向者と別枠とし会長が任命すると改正になりました

○会員拡大

今年度の商青連加入は次の通り

5月役員会で承認

鹿屋商工会議所青年部(設立平成9年10月2日会員数43名、会長 坪水徳郎)

広島商工会議所青年部連合会(設立平成11年4月27日会員数7単会、総会員数502名、会長 大野 徹)

7月役員会で承認

東海商工会議所青年部(設立平成10年4月6日、会員数98名、会長 森岡 厚)

廿日市商工会議所青年部(設立平成10年4月1日、会員数26名、会長 原田智之)

十日町商工会議所青年部(設立平成10年6月10日、会員数39名、会長 小林 均)

小松商工会議所青年部(設立平成11年6月23日、会員数71名、会長 西 正次)

石川県商工会議所青年部連合会(設立平成11年5月27日、会員数4、総会員数232名、会長 今村重喜)



研修委員会 1年間活動報告

研修委員長 桶谷 満(武生 YEG)

「アントレプレナーズ・スピリッツ 今起こそう経済維新の風」このスローガンに添って開催した、「翔生塾」と「ヤングリーダー研修」タイトルこそ例年と同じであるが、内容は「翔生塾」はアメリカ研修旅行「ヤングリーダー研修」は全国9ブロック大会と全国大会に合わせた開催と、委員会にとっては実にハードなものとなり、委員会メンバーの中で割り振り、1人が3~4ヶ所ずつ受け持ち、現地担当者との打ち合わせから、

大会当日の参加運営と頑張りました。

しかし、それだけで充分なはずもなく、委員会外の大勢の協力者がいらしゃればこそと感謝いたします。「翔生塾」の為に、事前に現地視察をされたツアーリストはじめ、各社にAP取りを頂きました皆様、「ヤングリーダー研修」の為に、委員会の代わりに講師探しや会場選びをして頂きました、大会担当の皆様、本当にありがとうございました。

おかげさまで、「翔生塾 in アメリカ」「ヤングリーダー研修」2冊の立派な報告書が出来上がったこと関係各位のおかげと感謝いたしますとともに、委員会報告書としての役割も果たすこの2冊が YEG メンバーにとって役に立つものであり、この事業に関わっていただきました皆様にも満足頂けるものと確信いたします。

YEG がアントレプレナーズ・スピリッツで、ますます発展することを祈念し、お礼申し上げます。



広報委員会 1年間活動報告

広報委員長 栗原 正直(茨城 YEG)

広報委員会は、福田有史副会長(福岡 YEG)、林 克重副委員長(福島 YEG)、高橋 昇理事(栃木 YEG)、田中愛一郎理事(三重 YEG)、辻川祐司理事(京都 YEG)、平林幹生理事(和歌山 YEG)、田崎辰郎理事(宮崎 YEG) の計8名で組織されています。

今年度の事業計画は、

- 機関紙「翔生」(第27、28号)の発行
- 「石垣」「会議所ニュース」への青年部活動の掲載
- 商青連ホームページの利用促進
- 商青連プロモーションビデオの製作

5. 商青連のあり方についての検討

以上の5点です。

これは、11年の1月浜松のキャリアックで、委員会が夜遅くまで討議し事業計画が出来ました。例年にはない事業として、プロモーションビデオがありますが、これは、福田副会長の「商青連活動は、このような事業をしている」このことを、YEG メンバーにPRすることによって、各単会の活性化になればという熱い思いが、事業化になりました。

機関紙「翔生」については、北島会長から「役に立つ商青連」ということを目標にしていたので、「翔生」も役に立つ、そして読んでもらえる機関紙を目指して、委員会が話し合いながら、イメージを一新しました。

商青連のホームページは、林副委員長が中心となり、メンバーがもっと利用促進できるように、内容を作り変えてくれ、現在は、メンバーのメールの利用率も多く、交流的なスペースになりました。

今年1年広報委員長を務めさせていただきました、非常に勉強になりました。私は、今年で青年部は定年になりますが、この経験を、これから単会、茨城の YEG メンバーに伝えていきたいと思えます。最後に、北島会長他役員の皆様、そして、福田副会長、委員会の皆様1年間ありがとうございました。



企画委員会 1年間活動報告

企画委員長 落合 伸介(鳥取 YEG)

企画委員会は倉橋純造副会長(青森 青森 YEG)を筆頭に山崎好行副委員長(佐賀 武雄 YEG)、中村 真理事(宮城 石巻 YEG)、河野 功理事(埼玉 所沢 YEG)、古泉幸一理事(新潟 亀田 YEG)、北野勝彦理事(大阪 岸和田 YEG) の計7名で組織されています。

- 第19回全国大会(新潟)の開催について指導・助言
- 第27回全国会長研修会(花巻)の開催について指導・助言
- 第21回全国大会開催地(小田原 YEG)についての現地調査及び審査
- 第18回全国会長研修会開催地(半田 YEG)についての現地調査及び審査

5. 商青連のあり方についての検討

の5点です。

1・2については委員会の都度、新潟 YEG、花巻 YEG の方々を交え活発な討議をし、企画並びに運営を検討し、又、9月には岸和田 YEG にお邪魔して臨時委員会を開催しました。お蔭で新潟の全国大会では一部ご迷惑をおかけした点も有りましたが、新潟県連及び各出向理事のご尽力で3161名の登録をいただき、会長研修会では倉橋次年度会長予定者の方針が周知徹底された事と思えます。

3・4については主管理候補届けに基づいて現地調査を行い、検討の結果を役員会に報告し承認されました。

5についても委員会の都度協議しておりますが、委員会意見として取りまとめるところまでしておりません。

当委員会は商青連の2大事業である全国大会・全国会長研修会の商青連窓口です。この二つの大会は北島会長・倉橋次年度会長予定者の晴舞台であり、又、全国386単会会員の交友・情報交換の場でもあります。

私ども委員会メンバーは黒子として、参加いただいた青年部会員の身になる大会となるよう委員会活動を続けて参りました。最後に、1年間委員長を引き受け色々な経験をさせていただきましたありがとうございました。

